

## 第8回（平成26年度）栃木県元気な農業コンクールいきいき農村部門受賞者紹介

### ☆ 農村環境保全向上の部

#### (1) 審査経過

農村環境保全向上の部には、9組織からの応募があり、いずれも、地域で協力して、それぞれの特性を活かした活動を展開しており、意欲や熱意が伝わるものでありました。

審査委員会では、①体制の充実（多様な主体による協同体制、将来像の明確化、人材育成など）、②創意工夫と自立性（地域の特性を活かした工夫や自立に向けた意識醸成など）、③環境保全や農業振興への寄与（地域の環境保全や農業振興等の取組など）、④多面的効果の発信（環境教育や積極的な情報発信など）の4つの視点から審査を行いました。この視点にもとづき、6人の審査委員が書類審査による評価・判定を行い、さらに優良地区の現地調査を行い、各賞を決定いたしました。

#### (2) 受賞組織の概要

##### ● とちぎ元気大賞（栃木県知事賞・関東農政局長賞）

###### 氷室みどりの郷（宇都宮市）

「弁天沼」周囲を覆っていた竹林を伐採し、ポピーやアジサイ、芝生などを植栽する整備を行い、地域のシンボルとなっているほか、憩いの場となっています。また、弁天沼周囲でオオムラサキが確認されたことから、「オオムラサキの里作り」を目標に地区内外4箇所に飼育舎を設置し、地元小学校・PTAと連携した幼虫の保護、羽化した成虫の放蝶会を実施しています。

弁天沼の整備、オオムラサキの保護活動ともきめ細やかに、多彩な活動を実施しており、また、地元小学校や地域住民を広く巻き込み、参加者の層も厚く多様となっています。

活動の内容とともに、取り組み自体を参加者全員が楽しんで実施していることが伝わり、高く評価されました。



整備された弁天沼



##### ● とちぎ元気賞（栃木県知事賞）

###### 小山用水保全協議会・鉢形環境保全会（小山市）

古くから農業用水に利用され、地域の憩いの場としても親しまれる「山田沼」において、間伐材や炭を利用した浮島による水質浄化や桜・アジサイ・ヒガンバナ等の植栽に取り組んでいます。

また、山田沼と周辺の生物の生息状況をまとめた「田んぼのまわりの生きものマップ」は、活動のPRに利用されるほか、県協議会マップコンテストで最優秀賞（生きもの調査）を受賞しました。

水質浄化の一環として浮島を設置するなど、取り組みが特徴的で、遊休農地防止のための落花生や菜の花栽培など工夫に富んでいます。今後も環境保全のほか、地域の子供たちの環境学習に寄与することが期待されます。



浮島による水質浄化

## ● とちぎ元気賞（栃木県知事賞）

### 金田北部地域環境保全会（大田原市）

地域に存在する「池の御前遊水地」、「銘木エノキ」、「おかんじち遊水地」の3つのシンボルを地域の宝と位置づけ、その保全、整備に農業者・自治会・公民館等、地域が一体となって取り組んでいます。

また、「おかんじち遊水地」周辺で、市の天然記念物であるイトヨの生息が確認されたことを契機に、本格的な生息調査を開始し、県内外の専門家とも連携、生息に適した環境を整備するなど、保護・繁殖活動を行った結果、年々その生息数が増加しています。

地域の宝を地域全体で保全する明確な理念に基づいて活動されており、今後の幅広い活動展開が期待されます。



エノキ周辺の整備



生きもの調査

## ● 特別賞（栃木県農業協同組合中央会長賞）

### 上延生地域資源保全会（芳賀町）

取り組み開始から、景観づくりや共同活動、生態系保全などの目標を掲げ活動しており、目標の一つである「農の恵みを分かちあう安らぎの郷づくり」では、町生涯学習活動と連携し、遊休農地でのトウモロコシ、サツマイモ栽培を行っています。また、畦畔保護のため1万株植栽されたヒガンバナは、きめ細かな管理により畦畔の保全とともに地域のシンボルとして親しまれて



植栽されたヒガンバナ

地域住民のみならず、多様な団体も構成員として、地域ぐるみで活動を行う体制をとっており、町の生涯学習活動とも連携した取り組みを実施している点が高く評価されました。



トウモロコシの収穫

## ● 特別賞（下野新聞社長賞）

### 大本・小葉・松沼・飾り馬の里（小山市）

地域に生息するホタルやメダカ、ドジョウの保全活動を実施しており、中でも地域を代表する魚であるドジョウの保護を目標に設置した水田魚道は、子供たちの生きもの調査の場となっています。生きもの調査では、講師の方を招き、親や地域の高齢者も参加し、交流の場となっています。

また、農道脇への植栽活動や「飾り馬の里」の組織名が入った手作りのプランターでの草花栽培により、農村景観の美化に地域をあげて取り組んでいます。

農業者だけでなく、自治会、老人クラブ、育成会など、地域の住民が一丸となって歴史・文化の継承と自然環境の保全管理に取り組んでいる点が高く評価されました。



小葉湧水



生きもの調査